



墨東の学び

令和7年度 学校通信⑬号

令和8年3月19日発行

都立墨東特別支援学校

校長 西岡 陽子

高等部卒業生の皆さん、御卒業おめでとう！

本日、本校肢体不自由教育部門高等部 第39回卒業証書授与式を挙行いたしました。

高等部卒業生の皆さんには、校長から、高等部の全課程を修了したことを証する「卒業証書」を手渡しました。卒業証書には、一人一人の名前と共に、番号が書かれています。この番号は、学校の開校当初から連綿と続いており、名前と共に「卒業生台帳」に記される通し番号です。卒業生の皆さんが墨東で学んだ証（あかし）は、後輩たちや教職員の「記憶」に残るだけでなく、卒業生台帳に「記録」としても生涯残り続けます。

これから先、道はそれぞれ分かれていきますが、卒業証書に記された皆さんの番号は互いにつながっています。人生の節目で、迷うときや心細さを感じるときは、卒業証書を開いてみてください。その番号でつながった仲間と、刻まれた「墨東特別支援学校」の文字が皆さんを勇気付けてくれることでしょう。

本日の卒業式で、校長から卒業生へ、門出を祝うメッセージを贈りました。式に参列された以外の皆様にも共有いただけるよう、全文を掲載します。

【校長式辞】

ただいま卒業証書を手にした高等部3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

今日のよき日を悟った桜の花も、皆さんの門出を祝うかのように次々と咲きだしています。

高等部での3年間、皆さんは仲間と共に学びながら、自分の力を高めようと努力してきました。

入学当初は、新型コロナウイルス感染症の影響が残り、距離を空けマスクを付けた中での生活でした。はるのな香りも十分に感じられない、高校生活のスタートとなりました。

葵の花が咲き始める季節の頃の体育祭では、高等部の生徒全員が一致団結して、競技を盛り上げてきましたね。学年が上がるにつれ役割が大きくなり、3年生の体育祭

では、後輩たちを支えリードする姿を頼もしく感じました。

碧い空、プールの水の冷たさを気持ちよく感じる夏、そして秋が深まる頃の墨東祭では、全員の力を結集させた発表で、周囲に大きな感動を与えました。

日々充実していた皆さんの学校生活は、本日終了を迎えます。

これより先、皆さんは、自分の力でそれぞれの道を歩むこととなります。

今の皆さんの心には、新しい生活への期待や喜びだけでなく、学校や仲間と離れることへの不安や心細さもあるかもしれません。

そんな時には、どうか思い出してください。

今、背中に感じる後輩たちの存在を。左右から向けられているあたたかなまなざしのことを。そして、今日のこの日を共に迎えた、隣にいる仲間たちのことを。

皆さんは、墨東で学び、仲間と共に過ごしながら、社会で必要となる賢智や教い心、粘り強く取り組む態度を身に付けてきました。

墨東で育んだ仲間たちとの絆、学校生活のたくさんの思い出を心の糧にして、新たな場所でも輝き続けてくれることを、期待しています。

卒業生保護者の皆様、お子様の御卒業おめでとうございます。保護者の皆様には、御自身のお子様だけでなく、常に墨東の子供たち全体を慈しみ支えていただきました。卒業生が仲良く、団結して学び続けてこられたのも、皆様のお力あってのことと、感謝の思いでいっぱいです。

保護者の皆様には、お子様の最も身近な「応援者」として、これからの努力と成長を見守り支えていただきたいと思いますようお願いいたします。皆様の今後の人生が喜びいっぱいのものとなるようお祈りしております。

本日御臨席を賜りました御来賓の皆様には、卒業生の旅立ちを共にお祝いいただきますことに心より御礼を申し上げますとともに、新しい大きな世界に一歩を踏み出

すこの若者たちを、引き続き支え励ましてくださいますよう、お願い申し上げます。

小さな苗木が恵みの雨によって大きな樹となるように、皆様の豊かな愛情により幸多き人生となることを願い、卒業生の弥栄を祈り式辞といたします。

令和八年三月十九日

東京都立墨東特別支援学校 校長 西岡 陽子



式辞の中に、高等部卒業生全員の名前の1字を織り込みました。世界にただ一つの卒業生の名前入りの文章です。卒業証書、思い出のアルバムとともに、記憶の片隅に残していただけると幸いです。

高等部卒業生 14 名の皆さん、心のふるさとである墨東特別支援学校は、これからも皆さんを応援し続けます。一人一人に幸あれ！

小学部卒業生、中学部卒業生、卒業おめでとう！

小学部6年生、中学部3年生は、3月24日の卒業証書授与式に向けて練習に励んでいます。

小学部6年生は、卒業証書授与の練習を重ねるに従い、壇上で見せる表情が引き締まり、中学生になる準備が整ってきたようです。式当日は、正面を向いて卒業証書を受け取ることを目標に練習を積み重ねています。

中学部3年生は、入退場の様子と、校長と目を合わせて卒業証書を受け取る姿に御注目ください。特に、拍手の中をまっすぐに進む退場の姿は、4月からの高等部生活に向かって歩いていくようで、頼もしさを感じます。

予行では、在校生代表学年である小学部5年生、中学部2年生の立派な態度にも驚かされました。当日も、皆で心に残る卒業式にしていきましょう。

3月24日(水)の午後は、東部療育センターで、かもめ分教室の中学部1名の卒業式を挙行します。

小学部10名、中学部12名、かもめ分教室中学部1名の御卒業を心からお祝いします。

令和8年度へ向けて(予定とお知らせ)

3月25日(木)は、在校生の修了式です。担任が心を込めて書いた通知表と学年の学びを全て終えたことを証する「修了証」をそれぞれにお渡しします。春休みは、通知表を見てこれまでの学習を振り返り、お子様の成長やできるようになったことを褒めてあげてください。そして次の学年で頑張りたいことを話し合ってみてください。

修了式に引き続き、離任式を行います。転出・退職する教職員の紹介と御挨拶をさせていただきます。今年度も、卒業生の皆さんや御家庭の方々に御覧いただけるよう、配信を行います。準備ができ次第お知らせします。

令和8年度の担任等については、4月の始業式(入学生は入学式の日)にお知らせします。また、在宅訪問学級の担任配置については、新年度当初に担当副校長から各御家庭にお電話でお知らせします。

一年間、ありがとうございました。
令和8年度もよろしくお祈りします。

